

株式会社セーフティーアイランド

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2024年4月～2025年3月)



® 環境省

エコアクション21
認証番号 0012162



発行日: 2025年6月27日

改訂日: 2025年7月25日



I. 環境方針

環境経営方針

株式会社セーフティーアイランドは、当社設立前より取り組んできた環境問題の経験を踏まえ、産業廃棄物(アスファルト・コンクリートガラ・混合廃棄物)のリサイクル及び汚染土壌の浄化による天然資源のリサイクルを通じて地域社会の環境に配慮した事業活動を展開し、環境と調和した豊かな社会の実現のために、環境経営を継続的に改善していきます。

1. 環境に安全で責任のある産業廃棄物中間処理及び汚染土壌浄化が、確実に見える工場運営とそれぞれの処理技術の開発・改善に努めます。
2. 天然資源保全のため、環境負荷削減を積極的に進めます。
 - ・ 二酸化炭素排出量の削減(電力、ガソリン、軽油、都市ガス)
 - ・ 一般廃棄物の削減
 - ・ 水使用量の削減
 - ・ リサイクル率の向上
3. 国・自治体が制定した環境関連法規を遵守します。
4. 環境保全のための目標を設定し、これを見直し、環境に悪影響を及ぼす恐れのある事態には、迅速に責任を持って対処します。
5. 全員への環境教育を行い、環境への意識向上に努めます。
6. 顧客に対しても資源のリサイクルに関する啓発活動を積極的に行います。

環境経営方針は、全従業員へ周知し、外部にも公表します。

制定日：2016 年 7月 1日

改定日：2023 年 2月 1日

株式会社 セーフティーアイランド
代表取締役 赤澤 一憲

Ⅱ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社セーフティーアイランド
代表取締役 赤澤 一憲

(2) 所在地

本 社 〒658-0024 兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町16番地7

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責 任 者 代表取締役 赤澤 一憲
担 当 者 総務課 荒木 彩
連 絡 先 TEL:078-412-4477 FAX:078-412-1980

(4) 事業内容

- ①産業廃棄物収集運搬業
- ②産業廃棄物中間処理業
- ③特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ④汚染土壌処理業

(5) 法人設立年月日 : 2001年6月27日

(6) 資本金 : 100百万円

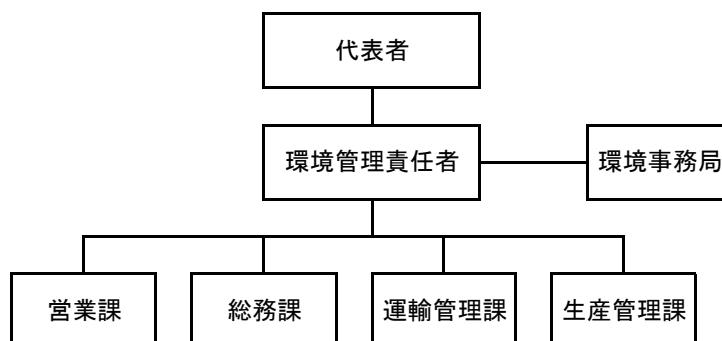
(7) 事業の規模 売上高:2,711百万円
(2024事業年度) 産業廃棄物収集運搬量:13,495t
産業廃棄物中間処理量:220,160t
汚染土壌処理量:38,543t

(8) 従業員数

従業員数	88名
延べ床面積	5,815㎡
敷地面積	16,205㎡

(9) 事業年度 : 4月～翌年3月

(10) 組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営の課題とチャンスの整理、明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(11-1) 許可取得内容
産業廃棄物処分類

(株) セーフティーアイランド
令和7年3月31日 (2025/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可年月日 有効年月日	許可品目 能力	金	ガ	が	廃	紙	木	織	ゴ	鉍	汚	廃	廃	許 可 範 囲
			属	ラ	れ	フ	く	く	維	ム	さい	泥	酸	アル	
神戸市 第06920079120号	令和6年11月19日	①破砕 第2013号 1,200t/d	◎	◎	◎						◎	◎			除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
	令和13年11月18日	②造粒固化 第1231号 1,760t/d										◎			限無機性汚泥、再生利用限土壌環境基準、除石綿含有産廃
		③破砕・選別 第2082号 1,600t/d	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
		④脱水 第2083号 242 t / d										◎			限無機性汚泥、除石綿含有産廃
		⑤中和・凝集沈殿 第2084号 400m3/d											◎	◎	

(11-2) 許可取得内容
汚染土壌処理業

(株) セーフティーアイランド
令和7年3月31日 (2025/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可年月日 有効年月日	許可品目 能力	カ	六	シ	セ	鉛	砒	ふ	ほう	許 可 範 囲
			ド	価	ア	レン		素	っ	素	
神戸市 第12910010002号	令和2年12月28日	①分別等処理施設(異物除去) 30t/h、300t/日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	濃度の上限はなし
	令和7年10月4日	②浄化等処理施設(浄化)(抽出・洗浄処理) 30t/h、300t/日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	濃度の上限はなし
		③分別等処理施設(異物除去) 178t/h、1,780t/日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	濃度の上限はなし

(11-3) 許可取得内容
特別管理産業廃棄物収集運搬業

(株) セーフティーアイランド
令和7年3月31日 (2025/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可年月日 有効年月日	許可品目	感	廃	廃	廃	燃	汚	鉍	ば	廃	許 可 範 囲
			染	油	酸	アル	え	泥	さい	い	石	
兵庫県 第02853079120号	令和4年11月27日 令和9年11月26日		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を含まない
大阪府 第02750079120号	令和4年9月30日 令和9年9月29日									◎		積替え・保管を含まない
奈良県 第02950079120号	令和4年10月10日 令和9年10月9日									◎		積替え・保管を含まない
京都府 02650079120	令和5年3月14日 令和10年2月23日			◎	◎	◎					◎	積替え又は保管を含まない
三重県 第02450079120号	令和4年2月1日 令和9年1月31日		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を除く
福井県 01851079120	令和7年2月25日 令和14年2月4日		◎	◎	◎	◎		◎			◎	積替保管を含まない
富山県 01654079120	令和5年2月25日 令和10年2月24日			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を除く 別表のとおり
福岡県 04050079120	令和5年3月20日 令和10年3月19日			◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	積替え、保管を含まない。

(11-4) 許可取得内容
産業廃棄物収集運搬業

(株) セーフティーアイランド
令和7年3月31日 (2025/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可品目 許可年月日 有効年月日	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	燃 え 殻	廃 フ ラ ン ク	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	動 植 物 性	鋳 さ い	ガ ラ ス	が れ き 類	ば い じ ん	1 3 号	許 可 範 囲
神戸市 第06910079120号	令和7年3月26日																	◎	積替え・保管を含まない、含水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
	令和14年3月25日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ア	ア			積替え・保管を含む、含水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
兵庫県 第02803079120号	令和7年3月31日						ア								ア	ア			積替え・保管を含まない。含水銀使用製品産業廃棄物。除水銀含有ばいじん等水銀含有ばいじん等。
	令和14年3月30日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
大阪府 第02700079120号	令和3年9月4日																		積替え・保管を含まない。含石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
	令和8年9月3日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
京都府 02600079120	令和4年4月28日																		積替え又は保管を含まない。含石綿含有。水銀使用製品産業廃棄物、除特管物、水銀含有ばいじん等
	令和9年2月25日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
和歌山県 第03000079120号	令和4年4月22日						ア								ア	ア			積替え又は保管を含まない。含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等、含石綿含有産業廃棄物
	令和9年4月21日	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎			
奈良県 第02900079120号	令和4年10月10日						ア								ア	ア			積替え保管を含まない。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
	令和9年10月9日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎		
滋賀県 第02501079120号	令和5年2月6日																		積替えを含まない。石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む
	令和10年2月5日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
三重県 第02400079120号	令和6年5月24日						アH					H			アH	ア			積替え・保管を除く。石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む、水銀含有ばいじん等を除く
	令和10年4月13日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
愛知県 第02300079120号	令和3年10月18日						ア								ア	ア			積替え、保管を除く。除自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
	令和8年8月30日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎			
岐阜県 第02100079120号	令和3年11月10日	ア	H	H	H	ア	ア	ア	ア	ア	ア	H	H	ア	ア	H			積替え、保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
	令和8年11月9日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
岡山県 第03301079120号	令和6年1月26日																		積替え又は保管無。除自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、不含水銀含有ばいじん等
	令和11年1月6日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
広島県 第03400079120号	令和4年3月26日																		積替え・保管は含まない。廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等、自動車等破砕物、特管物
	令和9年3月25日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
福井県 01801079120	令和3年8月10日						ア								ア	ア			積替保管を含まない 石綿含有産業廃棄物を含む
	令和7年8月30日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
石川県 第01707079120号	令和4年7月5日						H					H			H				積替え、保管を除く。除水銀含有ばいじん等、含水銀使用製品産業廃棄物、除自動車等破砕物、除特管物、含石綿含有産業廃棄物
	令和9年7月4日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
富山県 01604079120	令和5年2月25日																		積替え・保管を除く。除自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等。
	令和10年2月24日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
新潟県 01509079120	令和4年9月12日						ア								ア	ア			積替え・保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
	令和9年8月28日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
神奈川県 01403079120	令和4年6月23日						アH					H			アH	ア			積替・保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物
	令和9年4月30日	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
千葉県 第01200079120号	令和3年12月2日						アH					H			アH	ア			積替・保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物除自動車等破砕物、除特別管理産業廃棄物
	令和8年10月18日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
栃木県 00900079120	令和4年10月22日						アH					H			アH	ア			積替えを除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
	令和9年10月21日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

注 ア：石綿含有産業廃棄物を含む、H：水銀使用製品産業廃棄物を含む

(11-5) 許可取得内容

(株) セーフティーアイランド

産業廃棄物収集運搬業

令和7年3月31日 (2025/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可品目 許可年月日 有効年月日	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	燃 え 殻	廃 プ ラ ス チック	紙 く ず	木 く ず	織 物 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	動 植 物 性	鉱 さい	ガ ラ ス	が れ き 類	ば い じ ん	1 3 号	許 可 範 囲
宮城県 00400079120	令和5年8月7日 令和10年8月6日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え又は保管行為を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等、除自動車破砕物
福島県 第00707079120号	令和7年3月11日 令和14年2月4日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え及び保管行為を含まない。含石綿含有及び水銀使用製品、除自動車破砕物及び水銀含有ばいじん及び特管物
香川県 03709079120	令和3年2月1日 令和7年10月31日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ア	ア	◎	◎	積替え又は保管を含まず 不含自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、不含水銀含有ばいじん等
徳島県 03600079120	令和5年12月21日 令和10年12月20日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替えなし。不含自動車等破砕物及び水銀含有ばいじん等、含石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物。
福岡県 04000079120	令和5年2月7日 令和10年2月6日	◎	◎	◎	◎	◎	アH	◎	◎	◎	◎	H	◎	◎	アH	ア	◎	◎	積替え、保管を含まない。除自動車破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等

注 ア：石綿含有産業廃棄物を含む、H：水銀使用製品産業廃棄物を含む

(12) 施設等の状況

■ 産業廃棄物収集運搬用車両

車種	最大積載量	台数
4tアームロール車	4,000kg	9台
10tアームロール車	10,000kg	2台
3tユニック車	3,000kg	2台
4tユニック車	4,000kg	1台
ベッセル車	10,000kg	1台
ダンプトレーラー	20,000kg	1台

■ 積替え保管施設

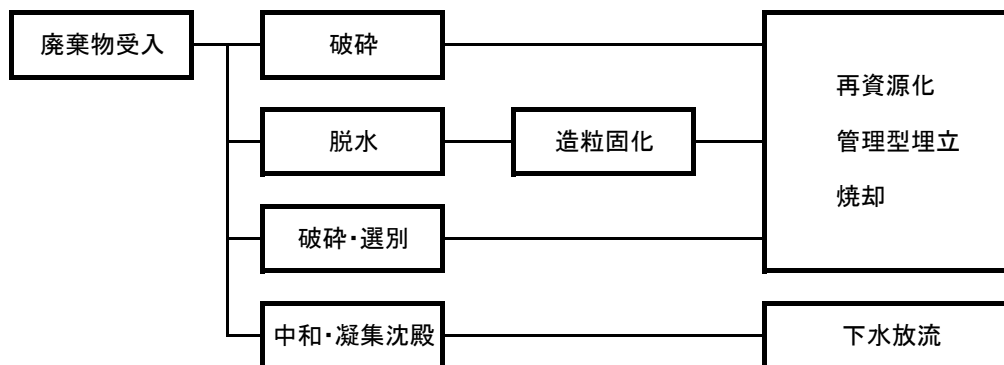
保管面積	保管上限	積替え保管を行う廃棄物の種類
100m ² (コンテナ利用)	88m ³	廃プラスチック類
200m ²	186.4m ³	汚泥・燃え殻・廃油・廃酸・廃アルカリ 動物性残渣

■ 産業廃棄物処分用施設

中間処理施設

施設の種類の種類	処理する廃棄物の種類
破砕	①汚泥 ②金属くず ③ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ④鋳さい
造粒固化	①汚泥
破砕・選別	①廃プラスチック ②紙くず ③木くず ④繊維くず ⑤ゴムくず ⑥金属くず ⑦ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ⑧がれき類 ⑨鋳さい ⑩汚泥
脱水	①汚泥
中和・凝集沈殿	①廃酸 ②廃アルカリ

(処理工程図)

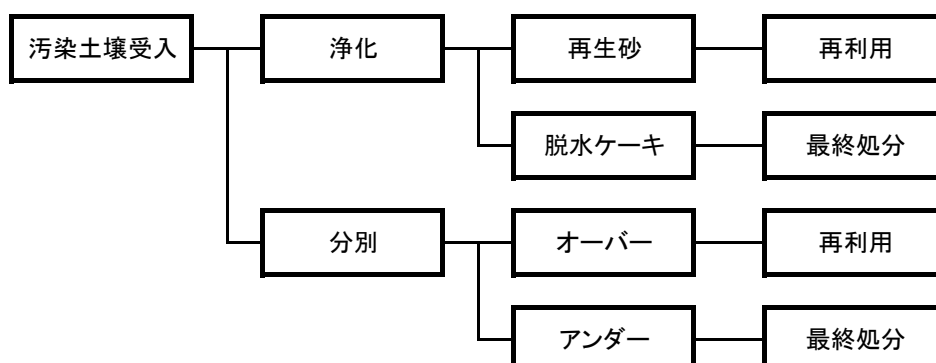


■ 汚染土壌処理施設

浄化等処理施設(浄化)(抽出-洗浄処理)

分別等処理施設(異物除去)

(処理工程図)



(1 3) 産業廃棄物処理実績

(2024年 4月 ～2025年3月)

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		569
		がれき類		4,890
		汚泥		745
		金属くず		31
		鋳さい		31
		紙くず		15
		廃プラスチック類		502
		木くず		669
		建設系混合廃棄物		6,044
	収集運搬量合計			
(ii)中間処理		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎、選別・破碎	2,591
		がれき類	破碎	46,783
		汚泥	破碎	123,275
		金属くず	選別・破碎	45
		鋳さい	破碎	25,631
		紙くず	選別・破碎	82
		廃プラスチック類	選別・破碎	1,384
		木くず	選別・破碎	1,899
		廃液	中和・凝集沈殿	4,859
		建設系混合廃棄物	選別・破碎	18,470
	うち 再資源化等		がれき類	
		汚泥		23,138
		鋳さい		25,631
		金属くず		45
		紙くず		82
再資源化等量小計			95,678	
中間処理合計				225,018
(iii)最終処分				
最終処分量合計				0
(iv)中間 処理後の 産業廃棄物	最終処分	建設系混合廃棄物	管理型埋立(委託)	42,966
		汚泥	管理型埋立(委託)	23,555
	再資源化等	廃プラスチック類		75
		廃液		8
		木くず		293
		建設系混合廃棄物		5,363
		廃石膏ボード		363
		汚泥		55,311
再資源化等量小計			61,413	
中間処理後処分量合計				127,934

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社セーフティーアイランド
対象事業所	本社
活動	①産業廃棄物収集運搬業
	②産業廃棄物中間処理業
	③汚染土壌処理業

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,059,105	1,108,980	1,285,897	1,283,371	1,392,335
電力使用量	kWh	758,226	706,023	542,448	517,336	762,421
ガソリン使用量	L	6,145	3,854	4,031	2,939	2,653
軽油使用量	L	261,483	292,405	393,424	396,074	322,465
都市ガス	Nm ³	16,595	15,869	10,320	10,037	10,445
一般廃棄物排出量	kg	参考: 768kg	参考: 780kg	参考: 1205kg	2,942	2,858
水道水使用量	m ³	4,418	3,629	2,603	1,938	1,980
井戸水使用量	m ³	30,704	33,364	24,878	26,199	32,412

※PRTR指定化学物質は使用していない。

※一般廃棄物排出量: 2021年度は事務所2Fのみだが、2022年度は会社全体の実績

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

年度		基準値	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	1,108,980	1,103,435	1,103,435	1,103,435
	対基準(%)	100	(△1%)	(△1%)	(△1%)
①電力使用量削減 (処理効率の向上)	kWh/t	2.120	2.120	2.118	2.114
	対基準(%)	100	(△0.0%)	(△0.1%)	(△0.3%)
②ガソリン使用量削減 (営業車の燃費向上)	km/L	19.50	19.58	19.61	19.67
	対基準(%)	100	(△0%)	(+0.6%)	(+0.9%)
③-1軽油使用量削減 (収集運搬車両の燃費向上)	km/L	5.15	5.17	5.18	5.19
	対基準(%)	100	(△0%)	(+0.6%)	(+0.8%)
③-2軽油使用量削減 (重機の燃費向上)	L/t	0.787	0.779	0.771	0.763
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)
④都市ガス使用量削減	Nm ³		維持管理		
	対基準(%)				
Ⅱ. 廃棄物排出量の削減	kg	3,468	3,433	3,416	3,416
①一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1.0%)	(△1.5%)	(△1.5%)
Ⅲ. 水道水使用量の削減	m ³	3,629	3,593	3,575	3,556
	基準年比	100	(△1%)	(△1.5%)	(△2%)
Ⅵ. 環境配慮			SDGsへの取組推進		
①SDGsへの取組の推進					

※電力による二酸化炭素排出量は、東京電力エナジーパートナー(株)の2020年度の二酸化炭素排出係数(調整後) 0.441kg-CO2/kWh を用いて算出した。

(2) 2024年の実績

年度		基準値	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率	判定
項目						
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	1,108,980	1,103,435	1,392,335	79%	×
	対基準(%)	100	(△1%)	(+26%)		
①電力使用量削減 (処理効率の向上)	kWh/t	2.120	2.120	2.926	138%	×
	対基準(%)	100	(△0.0%)	(+38%)		
②ガソリン使用量削減 (営業車の燃費向上)	km/L	19.50	19.58	21.16	108%	×
	対基準(%)	100	(△0%)	(+8.5%)		
③-1軽油使用量削減 (収集運搬車両の燃費向上)	km/L	5.15	5.17	5.11	99%	△
	対基準(%)	100	(△0%)	(△1%)		
③-2軽油使用量削減 (重機の燃費向上)	L/t	0.787	0.779	0.803	103%	○
	対基準(%)	100	(△1%)	(+2%)		
④都市ガス使用量削減	Nm ³		維持管理	10,445		—
	対基準(%)					
II. 廃棄物排出量の削減	kg	3,468	3,433	2,858	120%	○
①一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1.0%)	(+18%)		
III. 水道水使用量の削減	m ³	3,629	3,593	1,980	181%	○
	基準年比	100	(△1%)	(△45%)		
VI. 環境配慮			SDGsへの取組の推進			—
①SDGsへの取組の推進						

100%以上: ○、95~100%未満: △、95%未満: ×

達成率の算定式: 削減目標の達成率=目標÷実績×100%、向上目標の達成率=実績÷目標×100%、

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量総量の削減		
・下記の通り	○	下記の通り
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・プラント毎に電力量把握できるようにキュービクルの改造を行う。	○	プラント毎に電力測定ができるようになった。 次年度は、各プラントのデータを蓄積し、より効率的な運用を目指す。
・処理数量に対する電力使用量のデータをとる。	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)		
・適切な車両点検整備を実施する	○	車両点検、データを蓄積した。 次年度は、運転教育等運転者に向けた施策を実施予定。
・給油量、走行距離を記録し、燃費データを蓄積する	○	
自動車による二酸化炭素排出量の削減(軽油)		
・給油量、走行距離を記録し、燃費データを蓄積する	○	車両点検、データを蓄積した。 次年度は、運転教育等運転者に向けた施策を実施し、 ドライバー意識の向上を図る。
・適切な車両点検整備(メンテナンス)を実施する	○	
・負荷の少ない運転を意識する。	○	
・環境に関しての車両運用方法を教育する。	○	
重機燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)		
・適切な重機点検整備を実施する	○	データ蓄積を行った。 効率の良い稼働を目指し、運転教育や運転計画を協議、実行していく。
・教育訓練を行い、運転技術向上・作業の効率化を図る	○	
一般廃棄物の削減		
・数量データを取得する	○	数量データ、分別の呼びかけを実施した。 次年度も継続して分別意識向上に向け働きかけていく。
・リサイクル品の分別徹底の呼びかけを行う	○	
水道水使用量の削減		
・使用量データの取得・見える化で意識向上を図る	○	次年度も継続する。 生産管理課と連携し、上水利用の適正管理に努める。
・月1回、事務所棟の給水設備パトロールを行う。	○	
SDGsへの取組の推進		
・会社のSDGs設定	○	会社、グループのSDGs活動を推進した。 次年度も活動を継続する。
・グループのSDGs活動の推進	○	
・SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」	○	

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物処理業の営業許可・更新、受入廃棄物の分別・保管・適正処分	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検、記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	消防計画の作成、消火設備・火災報知器の点検整備・指定可燃物の扱い	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年11月に三か年及んだ処理施設等のリニューアル工事が大きな事故災害なく完成し、優良事業者としての認定も取得した。短期間で優良事業者認定を受けられたことを組織全体の成果として高く評価している。

2024年度は、2025年以降の躍進・飛躍のための準備の年としていたがライセンスを含むハードの準備が整った。

今後はあらゆるソフトの充実を図る段階であるが特に営業活動強化並びに環境管理活動を含む各セクションの運用管理を強化、改善する段階に入る。

そのひとつにホームページのリニューアルや各種教育訓練を充実させ人財育成にも力を入れたい。

環境管理活動は、外観整備やプログラムの管理を向上させるべく測定方法の定義や精度向上を図り、自らの取り組みと組織活動が自立成長し、より経営に貢献する環境管理活動としてもらいたい。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—

2025年6月30日

代表取締役 赤澤 一憲